

平成20年度病害虫発生予察特殊報第1号

平成20年10月14日
栃木県農業環境指導センター

オオムギ縞萎縮病ウイルス (BaYMV) 型系統

1 病原ウイルス：Barley yellow mosaic virus (BaYMV) 型系統

2 作物名：二条大麦

3 発生経過

平成17年4月、大田原市南金丸のほ場において BaYMV の ~ 型系統に対する抵抗性を持つ「サチホゴールド」にオオムギ縞萎縮病に特有な病徴がわずかに確認された。そこで、エライザ法によって検定した結果、BaYMV の感染を確認した。

さらに今年、この感染を引き起こしたウイルスの塩基配列を宇都宮大学の西川らが解析した結果、 ~ 型系統と異なる 型であることが確認された。

4 病徴

新葉に退緑斑点が現れ、それが黄白色になり縞状になる。分けつは不良で、株は萎縮する。品種により葉の黄変が上位葉に及んで株全体が、枯死することもある。ウイルスの系統による病徴の違いはない。

5 感染

ウイルスを保毒した土壌中のポリミキサ (*Polymyxa graminis*) が大麦の根に寄生することにより感染がおこる。ウイルスに汚染した土壌は数年間にわたって感染源となる。

6 発生状況

大田原市南金丸のほ場以外での 型の発生は確認されていない。

7 各品種と BaYMV 系統の関係

品 種	BaYMV 系統				抵抗性遺伝子
サチホゴールド				×	<i>rym3</i>
あまぎ二条	×		×	×	<i>rym6</i>
なす二条	×			×	不明
ミカモゴールド			×		<i>rym5</i>
スカイゴールド					<i>rym3 ,rym5</i>

：抵抗性 ×：罹病性

詳しくは農業環境指導センター (<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/>) までお問い合わせください。

Tel(028)626-3086 Fax(028)626-3012